

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

調査テーマ	日本と世界の経済における経団連の役割、ウィズ・コロナ、ポスト・コロナにおける経団連の新たな取り組み
調査日	2020年11月25日(水)15:00~16:30
調査先	一般社団法人日本経済団体連合会 産業技術本部 統括主幹 小川尚子 氏 ソーシャル・コミュニケーション本部 主事 渡辺思明 氏 環境エネルギー本部 四沢晃太 氏
担当教員身分・氏名	准教授 国松麻季
授業科目/学部企画名	訪問調査(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	1年生17人、2年生(CVS)4人
調査趣旨・目的	経団連の全体像、国内外における役割、コロナショックに際した取り組みなどについてご説明を聞き、質疑応答を行う。
調査結果	<p>小川尚子統括主幹より経団連の提唱する「新成長戦略」について、渡辺思明主事よりポスト・コロナにおけるDX(digital transformation)の活用と具体例のヘルスケアについて、四沢晃太氏よりグリーン成長について伺ったのちに、事前学習にて学生が抱いた疑問点やお話し頂いた内容についての質問にお答え頂いた。</p> <p>それぞれのご対応者様のプレゼンテーションでは、社会のニーズが多様化するとともに「価値(value)」に変化しつつあるなか、「価値」を生み出すのは機械ではなく私たち人間であること、DXにより個人の健康医療データを個人を介して医療機関や企業と共有することで患者に適した医療を提供できるようになること、環境に配慮した経済成長の達成を追求することで世界の持続可能な成長に貢献するとともに日本の成長にも繋げていくべきことなど、今後の経済に関する刺激的で興味深い内容が学生の関心を刺激した。</p> <p>質疑応答の時間では、プレゼン内容に関する質問に加え、「大学生の間に何をすれば良いか」や「組織での仕事をどのようにこなしているか」など、今後のキャリア形成を見越した質問が挙げられ、大学生時代に新しいことや興味関心のあることにチャレンジし多様性を身につけることが重要であり、多様性への理解が深まることでチームや組織での仕事を上手に行うことができるとの回答を頂くなど、今後の学生生活のアドバイスをも下さった。</p> <p>ご対応頂いたお三方より、熱心な学生の姿勢を評価頂くと同時に若い世代の意見を聞くことができ刺激を受けたとのご感想を頂いた。学生からも今回の訪問が今後の勉学やキャリア形成への意欲の高まりに繋がったとの報告を受けている。</p>

経団連会館の会議室にてお話を伺いました



お話に聞き入る学生たち



真剣にメモを取る学生たち



質問をする学生



中央大学の「C」マークをすご対応皆様と参加者全員

